

肢体不自由特別支援学校 小学部第2学年 自立活動学習指導案

日時	平成**年*月*日（*曜日） 10:45～11:30	場所	小学部2年*組教室
指導者	T1〇〇, T2〇〇, T3〇〇, T4〇〇		
単元名	『お話をきいてやってみよう～はらぺこあおむし～』（表現する力を高める）		
単元設定の理由	<p>本グループは女子*名, 男子*名で構成されている。児童の実態としては, 運動面では日常生活のほとんどの動作に介助を要する児童から, 寝返りで体勢を変えることのできる児童, 車いすの自走や歩行が可能な児童まで幅広い。認知面においてはどの児童も外界からの働きかけを受け止めることが可能ではあるが, 受けた刺激に対して気持ちを表出する力や, 物事に見通しをもって取り組む力, 物を注視して認識する力など, それぞれが異なる課題を抱えている。</p> <p>自立活動（おはなし）の授業では, 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編の4-1「保有する感覚の活用」と, 6-1「コミュニケーションの基礎的能力」から, 教師の読み聞かせを見聞きして感じたことを表情や身振り, 発声等個々の方法で表現したり, 教材を使ってお話の一部を体験したりすることに重点を置いて学習に取り組んでいる。今回は, 色彩の鮮やかな物や絵本の読み聞かせ等に興味・関心を示すことが多い本グループの児童の実態を踏まえ, 「はらぺこあおむし」を題材として取り入れた。わかりやすい場面展開で, 繰り返しの言葉遊びやカラフルな果物が多く登場する本題材を用いることで, 場面の展開に期待感をもって読み聞かせを見聞きし, 感じたことを自由に表現できるようにしたい。また, お話の中に登場する食べ物を操作してあおむしに食べさせたり, 「おなかがぺっこぺこ」などの動作を模倣したりする参加場面を多く設けることで, 個々がそれぞれの実態に合った方法でお話の一部を体験できるようにした。活動後半のさなぎの布を引っ張る場面では, グループの児童が力を合わせることで大蝶々が出てくるといふ, 集団授業ならではの喜びを味わえるようにしたい。</p> <p>このような活動を, ステップアップを図りながら繰り返し行っていくことで, 個々が自分にとって可能な手段を講じて表出する力を高めていけるようにしたいと考える。</p>		
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルシアターの読み聞かせを見聞きしたり, 大蝶々の舞いを見たりして感じたことを身振りや表情, 発声で表現することができる。 ・教材を注視したり操作したりして, お話の一部を体験することができる。 ・さなぎの布を, 友だちや教師と一緒に引っ張ることができる。 		

指導計画 (7時間)	「おはなしをきこう～はらぺこあおむし～」
	1次構成
本時は 第7時	第1・2・3時・・・① <u>パネルシアター</u> を見よう ② <u>やってみよう</u> （あおむしを食べ物の穴から引っ張る） ③ <u>蝶々の舞い</u> を見よう（ <u>ひらひらちょうちょ</u> ）
	第4・5・6・7時・・・① <u>ジュエチャー</u> をしたり触ったりして <u>パネルシアター</u> を見よう (本時) ② <u>やってみよう</u> （あおむしに食べ物を食べさせる） ③ <u>さなぎ</u> を引っ張って蝶々を出そう ④ <u>蝶々の舞い</u> を見よう（ <u>ひらひらちょうちょ</u> ）
※板書で使用する文言に下線	

〔本時の指導〕

1 全体目標

- ・パネルシアターの読み聞かせを見聞きしたり，大きな蝶々の舞いを見たりして感じたことを，身振りや表情，発声で表現することができる。
- ・教材（あおむしや食べ物）を注視したり，教材（食べ物）をあおむしの口に入れたりして，お話の一部を体験することができる。
- ・さなぎの布を，友だちや教師と一緒に引っ張ることができる。

2 児童（幼児・生徒）の実態及び個別目標

①気持ちを表出する力

- ◎：教師が行う簡単な動作を模倣したり，活動の中で自分の気持ちをサイン等で伝えたりすることができる。
- ：興味のある物を見たり抑揚のある読み聞かせを聞いたりして感じたことを，表情や身振り，発声で表現することができる。
- △：教師の言葉かけを受けながら，興味があるものを見たり，触ったりして感じたことを，表情で表現することができる。

②教材を操作する力

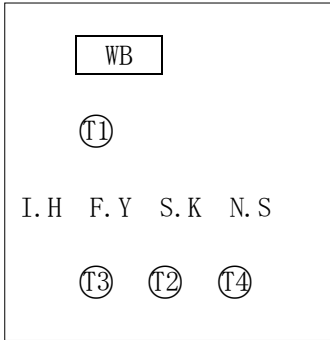
- ◎：手本を見て，自分で教材を容器等の中に入れることができる。
- ：教師の言葉かけを受け，提示された教材に手を伸ばして掴もうとしたり，手を放そうとしたりすることができる。
- △：教師が身体の一部を支えたり，一緒に行ったりすることで，教材を持ったり動かしたりすることができる。

③物を注視する力

- ◎：提示された教材に視線を向け，目で追うことができる。
- ：言葉かけや指さしを受けて，教材に視線を向け，目で追うことができる。
- △：視線の先に提示された教材に気付き，見ることができる。

主な担当児童 (幼児・生徒) 学年(年齢) (性別)	児童(幼児・生徒)の実態			個別目標	主な指導場面 評価方法
	①	②	③		
A 2年	○	○	○	①提示されたあおむしや卵に見立てた教材に気付き、視線を向けて目で追うことができる。【6-1】 ②教師の言葉かけを受け、手に持った教材(食べ物)をあおむしの口の上で放そうとすることができる。【4-1】 ③大きな蝶々が舞う様子を目で追い、楽しい気持ちを表情や発声で表現することができる。【6-1】	3 観察 4 観察 5 観察
	絵みでな表えが力な見にりしるある。 本聞は、場情できう教てな声たこる。 のか好面をこる。フ材笑つをりと 読せきで変と。ルを顔た出すが	鈴等の音が出ると、手が伸びて、教師から見られる。 意手して、教師から見られる。 言葉かけから見られる。	がをる伸つでのそ様れあ 音がをる伸つでのそ様れあ 音の出る教材を提示し、じっくり見られ、視線の先で追うことができる。		
C 2年	○	○	○	①提示された教材に気付き、視線を向けて目で追うことができる。【6-1】 ②教師の言葉かけを受け、気に入った食べ物の教材をつかみ、あおむしの口の上で放そうとすることができる。【4-1】 ③大きな蝶々が舞う様子を目で追い、感じたことを表情や発声、身体の動きで表現することができる。【6-1】	
	大蝶々が舞う様子を見入る顔は、手足の動きで表現する。	注目しやすい位置に教材を提示すると、手がのぼすことがある。また、教師の言葉かけで手から放そうとすることが見られる。	注目しやすい位置に教材を提示し、注目の先でゆっくり動かすことができる。		
D 2年	△	△	△	①提示した教材に気付き、目を向けることができる。【6-1】 ②教師の支援を受けて、あおむしの口に教材を入れることができる。【4-1】 ③蝶々の動きに気付き、目を向けたり、感じたことを身体の動きや表情、発声などで表したりすることができる。【6-1】	3 観察 4 観察 5 観察
	蝶々の動きに目をつけたり、感じたことを表情表すがある。	教師が肘を支えて動きを待つようにすると、手を動かしてひもをつけた教材を引くことができる。	黄色やオレンジ色など鮮やかな色の教材を目の前に提示すると教材に気付き、目を向けることができる。		
E 2年	△	△	△	①提示した教材に気づき、視線を向けることができる。【6-1】 ②教師の支援を受けて、あおむしの口へ教材を入れることができる。【4-1】 ③蝶々が舞う様子を見て、感じたことを身体や視線の動きで表すことができる。【6-1】	4 観察 5 観察
	蝶々が舞う様子に気づき、感じた視線を視きこる。	肘を支えることで、手を教材に伸ばし、教師と一緒に教材を握り、あおむしの口へ入れることができる。	顔から30cm離れた位置であれば、教材に視線を向けることができる。		

3 展開

形態 時間 (分)	主な学習活動・内容 (必要に応じて配置図等を入れる)	指導の手立て (各 T の役割等) ※評価は□で囲む
全 (1)	1 始めのあいさつをする	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の体調を確認し、当番の児童にあいさつを促す。 ○**の Spo2 の低下や心拍上昇が見られた場合 T2 は、呼吸が整うまで様子を見るようにし、必要に応じて保護者に吸引を依頼する。(授業全般) ○**に排痰の様子が見られた際は、T3 がケアブラシで痰を絡め取り、その後の様子にも注意する。(授業全般) ○**の身体の反り返りがみられた際に T3 は、Spo2 と心拍を計測し、体調に応じて身体をタッピングしたり額の介助を行ったりして緊張が緩むまで様子を見る。(授業全般) ○**の Spo2 低下や心拍低下がみられた際に T2 は、体勢を変えて様子を見たり、状況に応じて看護職員に吸引を依頼したりする。(授業全般)
個 (4)	2 本時の学習内容と目標を確認する おはなしをきこう～はらべこあおむし～ 1 パネルシアター 2 やってみよう 3 ひらひらちょうちょ	<ul style="list-style-type: none"> ・T1 が、流れカードを個々に提示しながら本時の学習の流れをゆっくり説明する。 ・T2 以下は、イラストカードを用いて、担当する児童の本時の目標を一緒に確認する。 ・T1 は目標の発表を順番に促し、T2 以下は個に応じて発表を支援する。
全 (15)	3 パネルシアターを見る・聞く パネルシアター 	<ul style="list-style-type: none"> ・T2～T4 は児童の車いすの位置を調整し、全員がパネルを見やすい状態になり次第 T1 が読み聞かせを始める。 ・T1 は読み聞かせの中で食べ物等の絵を T2 以下に手渡しする。 ・T1 は**, T2 は**, T3 は**, T4 は**に対して、黒地のボードを背景に絵を提示し、近くでじっくり絵を見ることができるようにする。 ・T2 以下も一緒に繰り返しのセリフを口ずさむことで、児童が興味をもって聞けるようにする。 ・T2 は、**に、「おなかぺこぺこ」等の動作の手本を示し、模倣を促す。

<p>全 (15)</p>	<p>4 お話に参加する やってみよう</p> <p>順番：**→ **→**→**</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>WB</p> <p style="text-align: center;">Ⓓ Ⓜ</p> <p style="text-align: center;">**I Ⓓ ** Ⓓ **</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせの中で、葉や卵、あおむしに見立てた教材を触る時間を設けることで、感触も感じられるようにする。 ・T1 と T3, T4 は, **, **, **がパネルシアターを見る中で表情や発声, 身振りで表出が見られた際に, 受け止める言葉かけをする。 ・T4 は, T1 の読み聞かせが終了したらパネルとイーゼルを教室左前方に片付ける。 ・T1 は**, T2 は**, T3 は**, T4 は** の支援につくが, 臨機応変に協力して支援する。 ・活動の初めに T1 は, 大きなあおむしを一瞬提示し, これからの活動に期待感が持てるようにする。 ・T1 が黒字のボードに食べ物や葉っぱの半具体物を置き, 個々に選択する時間を設ける。 ・選択場で T2 は, **に教材(食べ物)全体を提示して選ぶよう促し, T1, T3, T4 は, 担当する児童の実態に応じて2択等で食べ物を選ぶことができるようにする。 ・選択が終わったら T4 が大きなあおむしを持ち, 順番に児童の前に提示していく。その間 N.S の支援は T1 と T2 で行う。 ・T1, T3 は, **, **, **が教材(あおむしや食べ物)を注視したり手を伸ばしたりできるように, 車いすの角度や教材の提示位置を工夫する。 ・**, **, **が教材(食べ物)を意識し足り握ったりできるよう, あらかじめフックや鈴を付けておく。 ・児童が教材を注視したり操作したりできた際に教師は, 受け止める言葉かけをする。 ・**には, 活動に見通しが持てるよう, 順番を最後にし, 友だちの活動をじっくり見る時間を設ける。 ・活動が終わったら T3 があおむしを WB の裏に片付ける。
-------------------	---	---

<p>全 (5)</p> <p>5 大蝶々の舞いを見る ひらひらちょうちょ</p> <p>① さなぎから蝶々を引っ張る</p> <div data-bbox="263 392 590 593" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 20px; text-align: center;">さ</td><td style="width: 20px;"></td><td style="width: 20px; text-align: center;">**</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">な</td><td></td><td style="text-align: center;">**</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">ぎ</td><td></td><td style="text-align: center;">**</td></tr> <tr><td></td><td></td><td style="text-align: center;">**</td></tr> </table> </div> <p>②大蝶々の舞いを見る</p> <div data-bbox="279 716 614 918" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 20px;">(T1)</td><td style="width: 20px;"></td><td style="width: 20px;">(T4)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">**</td><td></td><td style="text-align: center;">**</td></tr> <tr><td>(T3)</td><td style="text-align: center;">**</td><td style="text-align: center;">** (T2)</td></tr> </table> </div>	さ		**	な		**	ぎ		**			**	(T1)		(T4)	**		**	(T3)	**	** (T2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1 は全体に声をかけて、個々をさなぎの前に誘導し、これから紐を引っ張って蝶々を出すということを伝える。 ・ 児童が友だちと一緒に引っ張っていることが意識できるよう、半円を描くようにしてさなぎの前に並ぶ。 ・ T2 は、S.K が自分でさなぎの布を引っ張ることができるよう言葉かけをし、T1, T3, T4 は、** , **, **が紐やフックに手をかけて布を引っ張ることができるよう、手を支えたり一緒に持ったりする。 ・ 全員が布を引っ張り蝶々が出てきたところで、T1 は蝶々を紐から外し、全員で円になるよう声をかける。 ・ T1, T3, T4 は、** , ** , **の車いすの位置を調整し、 T2 も**を定位置に誘導する。 ○ T2 が BGM をかける。その際は T1 と T3 が**の呼吸器、様子に注意する。 ・ T1 と T3 で大蝶々の布を持って揺らす。 ・ 教師は、児童が大蝶々の揺れを見て感じたことを表すことができた際には受け止める言葉かけをする。 <p>全 (4)</p> <p>6 振り返りをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ T1 は目標確認に用いたミニ WB を提示して呼名をし、T2 以下は児童の活動の様子をもとに児童の気持ちを汲み取り一緒に振り返りをしていく。 ・ 発表を聞き達成できた場合は、はなまるカード、がんばりが必要な場合はがんばりカードを T1 が貼る。 ・ 簡単に教材を出し、児童のできたことを再現する時間を設け、活動の中でできたことが一目でわかるようにする。 ・ 再現する際には T1 が教材を出し、** は T1, **は T2, **は T3, **は T4 が児童の活動を支援する。 <p>全 (1)</p> <p>7 終わりのあいさつをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の体調を確認し、当番の児童にあいさつを促す。
さ		**																				
な		**																				
ぎ		**																				
		**																				
(T1)		(T4)																				
**		**																				
(T3)	**	** (T2)																				
<p>【板書計画】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>おはなしをきこう～はらぺこあおむし～</p> <p>1 パネルシアター</p> <p>2 やってみよう</p> <p>3 ひらひらちょうちょ</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>個別目標ボードを貼り付け</p> </div>																					

※形態の表記は 全体：全、グループ：グ、個別：個

※体調面の配慮事項に○印